

須磨区会

『老人アセスメント演習』の
ボランティアに参加して
福 6 - 須 佐々信義

はじめにー

平成 1 9 年の夏、7 月 3 日と 1 0 日の 2 日に亘り、須磨友が丘にある神戸大学医学部の看護学専攻の 3 回生を対象にした「老人アセスメント演習」の授業に老人役として“わ”のメンバー 6 名の一人として参加する機会に恵まれた。

この活動はグループわ須磨区会が 6 年間続けている奉仕活動の一つであって、今回の演習参加者は我々も含め、すべて須磨区の社協に登録されているボランティアの人たちで構成されていた。

演習の主旨および内容

担当教官から「授業の狙いは老人世代と生活体験や交流の乏しい学生に対し、この体験学習を通して医療人としての望ましい態度を涵養することにある。これまでの実績からこの演習を重要な柱と位置づけている。」との説明あった。

- 1) 具体的には演習では私達ボランティア個々の「ありのままの日常生活の様子」「これまでの体験や現在の心身の状態」また「老化を自覚する身体的な変化」等について、学生と対面で会話を通し感想や意見を率直に伝えることが求められた。
- 2) あらかじめ決められた 4 つの教室に分散し配置につく。対話時間は、一人当たり 3 0 分で休憩時間として 10 分～15 分が定められていた。1 日に 2 名の学生が割振られ、小生の場合、要領の拙さで全員に対して予定時間をオーバーし休憩時間もほとんど使い切る羽目となった。

驚きの連続

驚きの始まりは初日から起こった。定刻の 30 分前であったが、2

名の先輩と 3 人で学校の門を入ると校舎入口付近には、今日の演習をする学生がすでに待ち構えていて、個人名入りのプラカードを掲げ笑顔で歓迎を受けたのが始まりである。演習に入っても驚きは続くのである。小生は 2 日間で 5 名(1 日目 2 名、2 日目 3 名)を担当した。彼女等の出身地が長野、京都府、奈良各 1 名、兵庫県 2 名で県外の学生の多いことも予想外であり小さな驚きであった。さらに若干の強弱が見られるものの、5 名すべてに共通して言えることに、言葉使い、態度も礼儀正しく真剣さが伺えたこと、加えて自分が目指す職業が担うべき使命をしっかりと見据えた言動にしばしば接し、またまた驚きが増して、時には感動すら覚えたことを忘れることが出来ない。

演習を終えてー

今年から始まった医療・看護保険制度の改悪のひどさには、我々高齢者は強い怒りと憤りを感じながらも、その無力感に打ちのめされたままの現実がある。今度の演習に参加して看護の現場には命を託するに十分な若者が育っている姿に触れ、一途の光明を見た思いがある。このことは小生にとってこれまで胸のうちにあったモヤモヤした気分を一気に吹き飛ばしてくれるエネルギーとなり何よりの

成果であった。これまでは医療問題に触れる場合、常に患者側に足を置いた価値判断が多かったが、これからは医療現場での仕組み、環境の変化にも注意深く関心を持ち続け、彼らの職場環境を守ることが何よりも肝要であり、これこそが我々に課せられた責務であることを学ぶ演習であった。今回の体験では「気力と勇気」を合わせてもらう結果となり喜びを感じている。最後に今回かかわった関係者の皆さまに感謝の気持ちを込めて『有難う』の言葉を以って終わりとします。

ニュースポーツグループ Wing の
月例練習のご案内

ニュースポーツグループ Wing ではグランドゴルフ、パタンク、ローンボールズ、スカイクロスの 4 種目を月 2 回の予定で、みんなで楽しんでいます。毎月案内メールを配信しますので入会の上、一緒に楽しみましょう。

ご入会の申し込み先は、いきがい部会(9 9 4 - 5 6 3 6 坂本) または、わ事務局(7 4 3 - 8 1 0 1)

第 1 回市民パタンク大会開催

3 月 1 1 日にグループ わ 主催の第 1 回市民パタンク大会を行ないます。一般市民の方を 2 人 1 組で 3 2 組を募集しますので、和事務局にお申し込みください。

